

進路だより

都立永福学園 肢体不自由教育部門
令和7年 9月9日 発行
校長 三浦 昭広
No.4 文責 鈴木 督

日頃から本校の教育に御理解と御協力をいただき、ありがとうございます。
今回は夏季施設見学会と進路講演会の報告をします。



○ 夏季施設見学に行ってきました

8月21日（水）～26日（月）に、児童・生徒、保護者を対象に、高等部卒業後に利用する進路先施設の見学会を実施しました。夏休み後半の暑い中でしたが、6施設8回の見学会に約50名保護者（うち親子参加18組）と多くの参加がありました。

利用者の皆さんの様子を見たり、施設での支援や活動について気になる点について具体的に質問をしたりなど、卒業後の生活の一端を考えるよい機会になったようです。施設と学校の違い、多様な方々がそれぞれの過ごし方をする施設の様子や理念等に触れ、学校卒業までの学びやお子様の成長について思いをはせる時間となりました。

今回、いただいたアンケートの一部を御紹介します。

～ 参加した生徒のアンケートより ～

施設はきれいでした。作業をして少しお金をかせげそうだったので、僕としては良かったと思いました。進路先の候補に入りました。トイレにベッドがあったのと、トイレ自体に肘置きがついていたので、排泄の時でもふんばりやすそうでした。

家で以前からお母さんと話し合っていますが、これから本格的にパソコンの練習を始めようと思いました。

「実際に自分の目で見ることで進路がより具体的になった」という感想をいただきました。「百聞は一見に如かず」ですね。また児童・生徒自身が将来の進路先の様子や雰囲気に触れることができたこともよい経験だったと思います。今後も機会を捉えて、少しずつ社会人となる準備を進めていけるとよいと思います。

見学したい施設があれば、施設へ直接相談いただくことも可能です。一度行ったことのある施設でも、再度見学し、最新の情報にアップデートしておくことをお勧めします。



～ 今回見学をさせていただいた生活介護施設のHP です～



シャローム
上井草さくら



なのはな生活園



新宿あゆみの家



新宿けやき園



かみさぎ
こぶし園



江古田の森

○ 進路講演会を実施しました



9月4日（木）に、令和6年度卒業生保護者の杉山順子様、賀美奈美様の2名を講師に迎え、「自立と社会参加について～保護者の視点から 特別支援学校在学中に身につけておきたいこと～」というテーマで御講演いただきました。雨にもかかわらず会場には9名、さらに Teams 参加には11名、合計20名の参加がありました。

講演会では、『在学中に〇〇を身につけたから⇒今こういう姿がある』『本校在学中に身につけておけば良かったこと』の2点について、具体的な例を挙げながらお話していただきました。

杉山様からは、「社会性」「作業」「余暇の充実」について、賀美様からは、「毎日の生活リズム」「立位」「ICTの利用」についてお話がありました。これらの要素そのものについて、キャリア教育の視点からとても重要な点で大変参考になるお話でしたが、それ以上に今回のお話に価値があると感じたのは、お二人ともにお子様の成長と将来ために「提案」する力の大切さをお話しいただいたことです。

学校生活から生活介護等の施設への生活の変化は、教育から福祉への移行を意味します。「成長」のための教育活動と「豊かに暮らすため」の福祉活動は狙いも異なり、生活環境の変化とともに支援する人の人数等、様々な資源が減少するという現実があります。お二人は在学中より、様々な福祉園等を見学する中で、特に杉山様は「作業」、賀美さんは「立位」という福祉施設で取り組んで欲しい重点ポイントを決め、卒業後の施設に移行したのちにもスムーズに取り組めるよう、在学中から計画的に準備を積み重ねてきたことがお話から分かりました。

その際、誰かに任せるのではなく、保護者自身が重要なポイントについて十分な知識や経験を持っておくことが大切というお話がありました。例えば、卒業後もポッチャに取り組もうとする時に、支援者の方に適切な支援を伝えるために、保護者自身がルールだけでなく、必要な物品等にも習熟しておかなければ充実した活動は望めない、というお話は非常に印象に残りました。

「豊かな生活」づくりには、卒業後の生活（福祉事業所や生活・余暇活動の場等）を具体的にイメージできるようにしていくことが必要ですが、合わせてお子様の成長に必要な力ついて「提案」していく力をつけていくことは、在学中からも必要な観点だと痛感した講演会でした。

参加者からの感想



グループディスカッションは距離も近く、先輩の保護者の方に直接質問ができてよかったです。

卒業後は、出かける時間が遅く、帰宅が早くなるので、生活リズムの変化に親子ともにどのように対応しているか気になりました。

学校で当たり前であったことが、そうでなくなる新しい環境の中でいかに子供に合う環境づくりをしていくか。焦らず作っていくことの大切さを実感しました。

